「肉のプロ」×「肉のプロ」創業半世紀企業の職人社長率いる「古川ミート」がOICグループに参画

牛タン・ハム・ソーセージなどの独自商品を共同開発、販売へ



株式会社OICグループ(オイシーグループ)は、2025年8月4日、宮城県にある食肉加工専門会社・株式会社古川ミートの全株式を取得し、同社がOICグループに参画しました。

OICグループは、スーパーマーケット「食生活♥♥(ラブラブ)ロピア」(以下、ロピア)を全国に1 30店舗以上展開し、生産・製造、貿易、卸、小売、外食を一貫して展開する「食品総合流通業」と して、「食のテーマパーク」の実現を目指しています。

「古川ミート」は、東北各地から仕入れた畜産物を自社で加工し、日本全国へ販売しており、「IFFA食肉加工コンテスト」において3大会連続で金賞を受賞するなど、食肉加工に高い技術力を有しています。

このたびの参画により、創業47年の "加工と品質管理のプロ"「古川ミート」と、精肉専門店発祥で"仕入れと販売のプロ"である「ロピア」が連携し、「肉のプロ」同士が、こだわりの肉を全国に届ける体制の強化やオリジナル商品(PB)の開発に取り組みます。

両社は今後、グループ各社間での連携を最大限に生かし、「おいしい」を通じて、世界中の人々の暮らしを変えるような驚きや感動のある商品を企画・提案してまいります。

■東北の地に根差した食肉加工の専門会社、古川ミートがOICグループに参画

スーパーマーケット「食生活♥♥(ラブラブ)ロピア」(以下、ロピア)をはじめ、食品総合流通業を展開する株式会社OICグループは、2025年8月4日、1978年の創業以来、宮城県大崎市に根差した食肉加工の専門会社「株式会社古川ミート」(以下、古川ミート)の全株式を取得し、古川ミートはOICグループに参画しました。

OICグループは「おいしいは、人が生きる力」を経営理念に掲げ、「食品総合流通業」として、スーパーマーケット「ロピア」をはじめ、生産・製造、貿易、卸、小売、外食まで幅広い事業を展開しています。そして、多様な事業を組み合わせることでグループシナジーを生み出し、人々が食を通じて「おいしい」「たのしい」「うれしい」体験をする「食のテーマパーク」の実現を目指しています。既に40社(8月4日時点、古川ミート含む)がグループ会社になっており、2031年度までにグループ会社100社、売上高2兆円の実現を目標としています。

このたび古川ミートの「食の未来の可能性に向けた"多様化"と"多角化"への挑戦!」という取り組みと、OICグループの目指す「おいしい」が持つ本質的な価値や可能性を追求し、人の「生きる」を後押しする。という世界観が一致し、参画に至りました。

■地元食材にこだわり、高い技術が国際的に評価されている「古川ミート」

古川ミートは、1978年に宮城県大崎市で創業し、安心・安全な食肉の提供に努め、地域と共に歩んできた食肉加工の専門会社です。1998年から代表取締役を務める鈴木 優哉氏は、この道28年目の職人です。

古川ミートは、県産食材である「仙台牛」や「伊達ざくらポーク」を使用した加工、および商品開発に注力し、地産地消に取り組んできました。特徴的なのは、厳選した県産食肉を古川ミート内で脱骨・加工を行うことで、鮮度を保ったまま商品化していることです。また、肉本来の味が濃いと評判の親豚を加工した「大貫肉(たいかんにく)」にこだわりを持ち、大貫肉を使用したハム・ソーセージ製品は国内のみならず国際的に高い評価を受けています。ドイツ・フランクフルトで3年に1度開催される「IFFA食肉加工コンテスト」において、古川ミートは2016年・2019年・202年の3大会連続で金賞を受賞しました。



■厚切り牛タンが、大崎市のふるさと納税返礼品の人気No.1商品に

古川ミートが独自の製法で仕上げた厚切り牛タンも、高い人気を博しており、大崎市のふるさと納税返礼品ランキングにおいて月間第1位を獲得するなど、地域を代表する人気商品へ成長しています。

■「肉のプロ」×「肉のプロ」のシナジーが生む可能性

創業より東北地方の食肉産業を支えている食肉加工の専門会社、古川ミートが、同じく精肉専門店から発祥した「肉のプロ」OICグループに参画することで、「肉のプロ」×「肉のプロ」のシナジーが、新たな可能性を生み出します。

古川ミートの鈴木代表取締役は、「古川ミートは長年にわたり地域の食卓を支えてきましたが、いまだに力を発揮し切れていない可能性がある」と語ります。商品開発において、多くのアイデアを持ちながら形にできない場面や、販路の確保に苦戦することもありました。

今回のOICグループ参画により、「ロピア」での小売にとどまらず、OICグループが持つ商品の 企画、製造、加工まで行う「開発力」や「スピード感」を生かし、これまで実現できなかった商品展 開が可能になりました。

▶例えば、今後OICグループにおいて、以下のような展開が考えられます。

- ●古川ミート製造の仙台牛タンやハム・ソーセージを、「ロピア」やグループ会社である「スーパーバリュー」各店で展開
- ●両社の製造力を掛け合わせ、オリジナル商品を開発、販売
- ●古川ミート監修の味付け用タレを仕入れ、「ロピア」独自の味付け商品として商品化・販売。

また、「ロピア」や「スーパーバリュー」に加え、OICグループのグループ会社である「平野養豚」、「利恵産業」などの協働により、生産・製造、貿易、卸、小売、外食まですべて自社グループ内において一括で行うことができます。さらに、製造過程で生じる副産物を生かした商品開発も検討予定で、東北をはじめ全国への小売展開も視野に入れています。



■古川ミート 代表取締役 鈴木 優哉氏のコメント

今までM&A案件は全部お断りしていましたが、OICグループの「おいしいは、人が生きる力」という経営理念に共感しグループ参画に至りました。

自分自身も、挑戦できる環境や精肉店発祥の親近感、参画したグループ各社で活躍する社長たちの姿に刺激を受け、古川ミートの価値をどこまで高められるかに挑戦したいです。

OICグループとなら、まだ発揮し切れていない自分たちの力を形にできるとワクワクしています。

■株式会社 古川ミートについて

商 号:株式会社古川ミート

本 社: 宮城県大崎市古川飯川十文字105番地1

設 立: 1978年12月9日 代 表 者: 代表取締役 鈴木 優哉

事業内容:食肉(枝肉)の処理・食肉の加工及び販売・食肉製品の製造及び販売・食肉の処理

及び加工の受託

■OICグループについて

「おいしい」「たのしい」「うれしい」体験を世界に届ける、食品総合流通業を目指すOICグループは、1971年に精肉専門店として創業し、他の生鮮食品も取りそろえるスーパーマーケットに事業を拡大しました。さらに現在では、小売事業の枠を超え、生産・製造事業、貿易・PB・卸事業、外食産業まで展開し、幅広い事業を通じて、「おいしい」「たのしい」「うれしい」体験を世界に届ける「食のテーマパーク」を目指しています。日本国内のみならずアジアで事業を拡大し、2031年度までに売上高2兆円の実現を目標にしています。

商 号:株式会社OICグループ

本 社:神奈川県川崎市幸区南幸町2丁目9番地

設 立:1971年4月28日 代 表 者:代表取締役 髙木 勇輔

売 上 高:5,213億円(2025年2月期)

事業内容:食品スーパーマーケット・食肉専門店・外食店舗の運営、肉加工品・パン・惣菜・調

味料などの製造・販売、食肉・青果物の生産・販売、生鮮品・加工食品・酒の輸出

人·卸

店 舗 数:食品スーパーマーケット「ロピア」は全国22の都道府県と台湾で計135店舗

(2025年8月4日現在)。首都圏を基盤としながらも、大阪や京都などの関西エリア、さらに中部エリアでも展開し、2023年には九州エリア、東北エリアへ進出。

2024年には北海道、2025年には新潟県、群馬県、長野県に初出店した。